

# 静岡県月例経済報告

(平成30年9月号)

……平成30年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 509

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	12
・ 雇用面 .....	14
・ その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成30年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概 況

平成30年7月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需 要 面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(7月)は、スーパーが5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、百貨店が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも7か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(7月)は、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、コンビニエンスストアがいずれも2か月連続、ドラッグストアが17か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、乗用車が10か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(7月)は、持家、貸家、分譲住宅のいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(7月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年7月2日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(7月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（7月）は、原動機、エアコンがいずれも2か月連続、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車が4か月ぶり、二輪自動車類が6か月連続、科学光学機器が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額（7月）は、魚介類及び同調製品が4か月ぶり、紙類及び同製品が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材が2か月ぶり、パルプが9か月連続、原動機が3か月連続、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、867億円の輸出超過となった。

## 生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（6月）は、はん用・生産用・業務用機械が4か月連続、輸送機械が2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械、食料品・たばこがいずれも2か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも3か月ぶりに前年水準を下回った。また、3か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では9か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（7月）は1.73倍で、前月を0.01ポイント上回った。また、54か月連続で1倍を上回った。なお、17か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、60か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、7か月連続で前年実績を下回った。

## その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（7月）は、前年同月比 0.7%減と前年実績を下回った。  
信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比 9.3%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（8月）は、件数は22件（前年同月比 4.7%増）、負債総額は23億2,700万円（同 38.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

## <トピックス> 創エネ・蓄エネに関する技術開発・実用化の促進

### 1 要旨

静岡県は、エネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出を目指し、産学官金による「静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会」を設立し、ビジネスマッチング等の支援を開始しました。

### 2 背景・課題

- 今後、EVシフトなどの影響により、県内の輸送機器産業は既存技術を生かしてエネルギー分野等の成長産業分野へ参入する動きが活発化していくと予想されます。
- 企業へのヒアリングによると、単独企業によるエネルギー関連技術の開発の難しさ、企業間や研究機関などとのマッチング支援を求める声が多くみられています。

⇒ 連携の促進から共同開発・実用化までの継続的支援が必要

### 3 協議会

- 公募により参加企業等を募集（※ 協議会の詳細や参加希望については問合せ先まで御連絡ください）  
⇒ 会員 114 者（9月7日時点）  
企業 63（うち県外企業 20）、大学・研究機関 7、金融機関 12、産業支援機関 8、市町 18、その他（NPO等） 6
- 7月31日、静岡市内で設立総会を開催

### 4 事業内容

- ビジネスマッチング交流会（10月開催予定）  
⇒ 大学・研究機関の研究シーズと企業とのビジネスマッチング、会員企業からの事業提案に対する産学官金の連携支援
- ワーキンググループ活動（10月～2月予定）  
⇒ 共同研究・共同実証に向けたワーキンググループによるテーマ別の検討、研究開発計画に対する専門家のアドバイス

### 5 今後の展開

次年度以降、今年度の成果を踏まえ、共同研究・共同実証の開始を目指します。

⇒ イノベーションへの挑戦により、“静岡発”の新ビジネス、新製品の創出

⇒ エネルギーを軸とした新たな産業の創出

### 6 問合せ先

静岡県経済産業部産業革新局エネルギー政策課

(担当) 河野

(電話) 054-221-2949

(メール) energy@pref.shizuoka.lg.jp



森の金太郎発電所（小山町木質バイオマス発電施設）

#### 県内の再生可能エネルギーの状況



#### 太陽光発電

FIT導入量  
全国第7位！



【静岡県の特徴】

- 全国トップレベルの日照環境
- 西部地域の導入が比較的進む



#### 小水力発電

FIT導入量  
全国第3位！



【静岡県の特徴】

- 水資源が豊富な地域
- 農業用・ダム・河川などの可能性が高い



#### バイオマス発電

FIT導入量  
全国第2位！



【静岡県の特徴】

- 豊富な森林資源、農業・畜産業、食品加工業の集積背景に資源が存在



#### 風力発電

FIT導入量  
全国第8位！



【静岡県の特徴】

- 風況に恵まれた地域
- 伊豆半島や西部地域沿岸部で導入が進む

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

7月 = 35,213百万円

\*前年同月比： 1.1%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

##### <概況>

7月の大型小売店販売額は35,213百万円で、前年同月比 1.1%減となり、7か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.6%増）が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、百貨店（同 7.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも7か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 1.0%増）が13か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同 7.8%減）、身の回り品（同 6.9%減）がいずれも2か月ぶり、家庭用品（同 8.5%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.9%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

##### <最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	42,544	36,380	30,823	33,271	32,240	32,970	33,375	35,213
前年同月比(%)	0.1	▲0.9	▲0.4	▲2.8	▲2.8	▲3.6	▲0.1	▲1.1
うち百貨店(%)	0.8	▲2.4	▲1.7	▲2.5	▲2.7	▲6.0	2.1	▲7.5
スーパー(%)	▲0.1	▲0.6	0.0	▲2.9	▲2.9	▲3.0	▲0.6	0.6
(参考1)全国前年同月比(%)	1.1	0.4	0.6	0.1	▲0.8	▲2.0	1.5	▲1.6
うち百貨店(%)	0.8	▲0.1	0.3	0.9	1.5	▲1.2	4.0	▲5.1
スーパー(%)	1.3	0.7	0.7	▲0.4	▲1.8	▲2.4	0.3	0.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.3	0.1	0.8	▲1.5	▲2.4	▲3.1	0.3	▲1.9

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

##### <商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	0.7	▲5.0	▲0.8	▲1.3	▲2.8	▲6.3	0.4	▲7.8
うち紳士服・洋品	2.0	▲2.7	▲3.5	▲5.0	▲0.3	▲10.3	▲2.3	▲6.0
婦人・子供服・洋品	0.6	▲6.1	0.9	1.0	▲3.4	▲4.7	2.3	▲8.1
身の回り品	0.0	▲1.6	2.0	▲3.8	▲7.4	▲2.6	1.4	▲6.9
飲食料品	▲0.1	▲0.2	▲0.3	▲2.2	▲2.7	▲2.9	0.0	1.0
家庭用品	▲5.1	▲1.9	▲2.8	▲4.1	▲5.4	▲1.7	▲6.1	▲8.5
うち家庭用電気機械器具	▲14.7	▲10.1	▲6.9	3.5	1.7	9.0	17.5	6.7

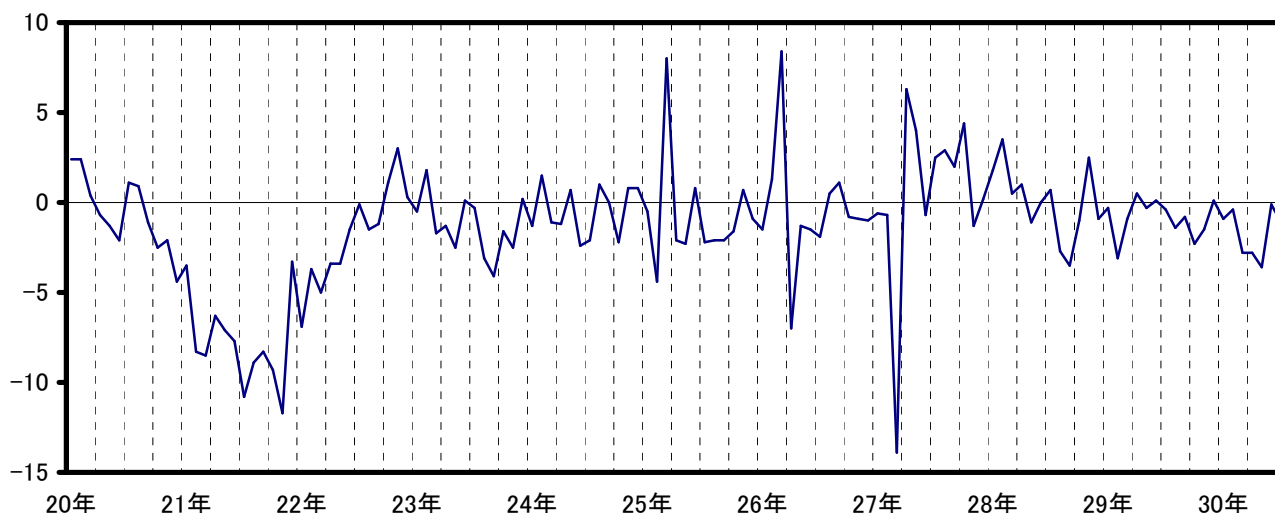
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

##### <過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

7月 = 76,985百万円

\*前年同月比： 2.7%増

(県内94家電大型専門店、1,712コンビニエンスストア、478ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

7月の専門量販店等販売額は76,985百万円で、前年同月比 2.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 1.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 4.1%増）、コンビニエンスストア（同 0.6%増）がいずれも2か月連続、ドラッグストア（同 6.9%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	76,204	64,875	58,880	68,567	66,761	67,364	66,876	76,985
前年同月比(%)	3.4	2.4	2.3	1.8	3.0	▲0.8	3.1	2.7
うち 家電大型専門店(%)	7.3	5.0	4.7	▲0.2	2.3	▲0.6	9.8	4.1
コンビニエンスストア(%)	0.5	0.5	▲0.1	1.1	1.2	▲1.2	0.9	0.6
ドラッグストア(%)	6.5	5.9	6.1	4.3	7.4	3.1	4.9	6.9
ホームセンター(%)	1.2	▲2.2	▲0.7	0.8	▲0.2	▲7.6	0.1	▲1.0
(参考)全国前年同月比(%)	3.8	2.9	2.9	3.4	3.0	0.3	3.9	1.7

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

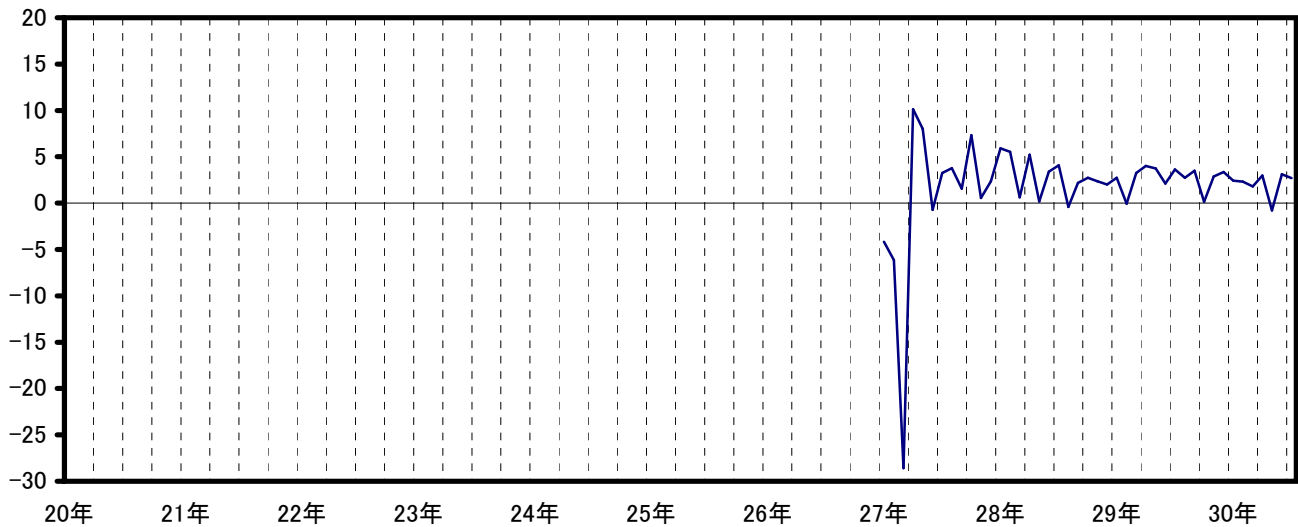
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

7月 = 14,618 台

\*前年同月比： 2.4%増

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は14,618台(前年同月比 2.4%増)と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 0.4%減)が10か月連続で前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 6.0%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	13,048	15,357	17,887	23,209	11,883	12,332	15,629	14,618
前年同月比(%)	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1	▲ 4.9	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 2.8	▲ 3.6	2.6	▲ 1.5	▲ 5.3	3.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

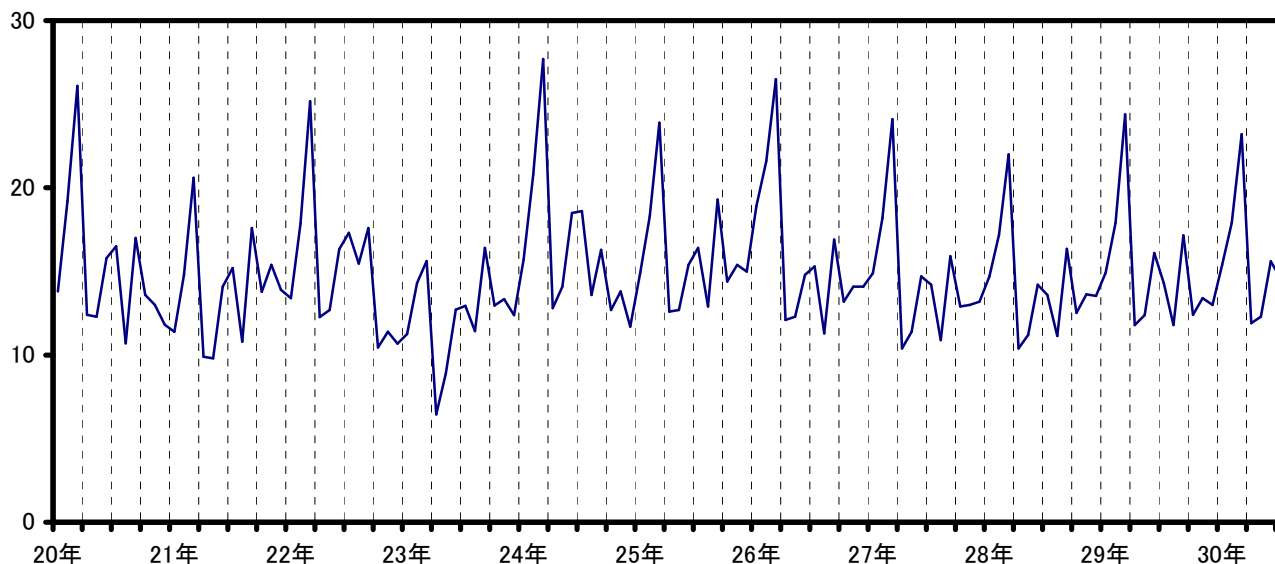
	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1	▲ 4.9	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0	2.4
乗用車	▲ 6.5	▲ 6.7	▲ 1.5	▲ 7.7	▲ 2.7	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 0.4
軽自動車	0.4	16.6	1.7	▲ 0.9	5.6	0.8	6.2	6.0

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

7月 = 2,309 戸

\*前年同月比： 25.6%増

### <概況>

7月の新設住宅着工戸数は2,309戸で、前年同月比 25.6%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 4.1%増）、貸家（同 70.1%増）、分譲住宅（同 30.9%増）のいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

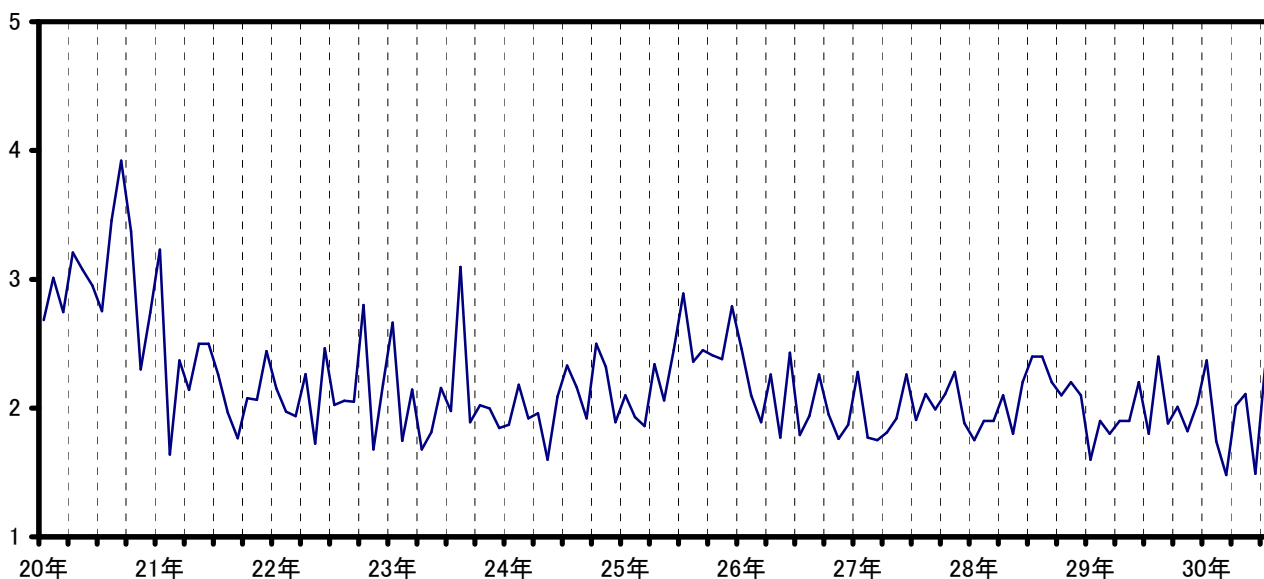
	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数 (戸)	2,032	2,369	1,742	1,483	2,015	2,108	1,489	2,309
前年同月比 (%)	▲ 2.0	44.0	▲ 9.8	▲ 17.9	7.0	8.8	▲ 32.6	25.6
うち持家 (%)	▲ 0.9	21.2	▲ 24.3	▲ 3.4	5.3	4.5	▲ 25.4	4.1
貸家 (%)	▲ 0.4	34.5	▲ 7.9	▲ 22.9	8.6	9.0	▲ 46.7	70.1
分譲住宅 (%)	▲ 8.8	124.9	35.3	▲ 37.2	11.1	21.8	▲ 23.2	30.9
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.1	▲ 13.2	▲ 2.6	▲ 8.3	0.3	1.3	▲ 7.1	▲ 0.7

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

7月 = 29,729百万円

\*前年同月比： 9.9%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

7月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は29,729百万円で、前年同月比9.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は872件で、前年同月比17.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額(百万円)	13,064	9,580	8,327	16,358	61,467	30,683	30,461	29,729
前年同月比(%)	▲21.4	▲8.4	▲33.2	1.7	11.6	53.1	▲6.8	9.9
年度累計前年同月比(%)	1.1	0.7	▲0.8	▲0.7	11.6	22.6	13.7	12.9
件数(件)	694	369	185	195	586	564	707	872
前年同月比(%)	▲10.1	▲15.0	▲42.4	▲17.0	18.4	20.8	▲1.9	17.0
年度累計前年同月比(%)	▲0.8	▲1.7	▲3.4	▲3.8	18.4	19.5	10.3	12.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

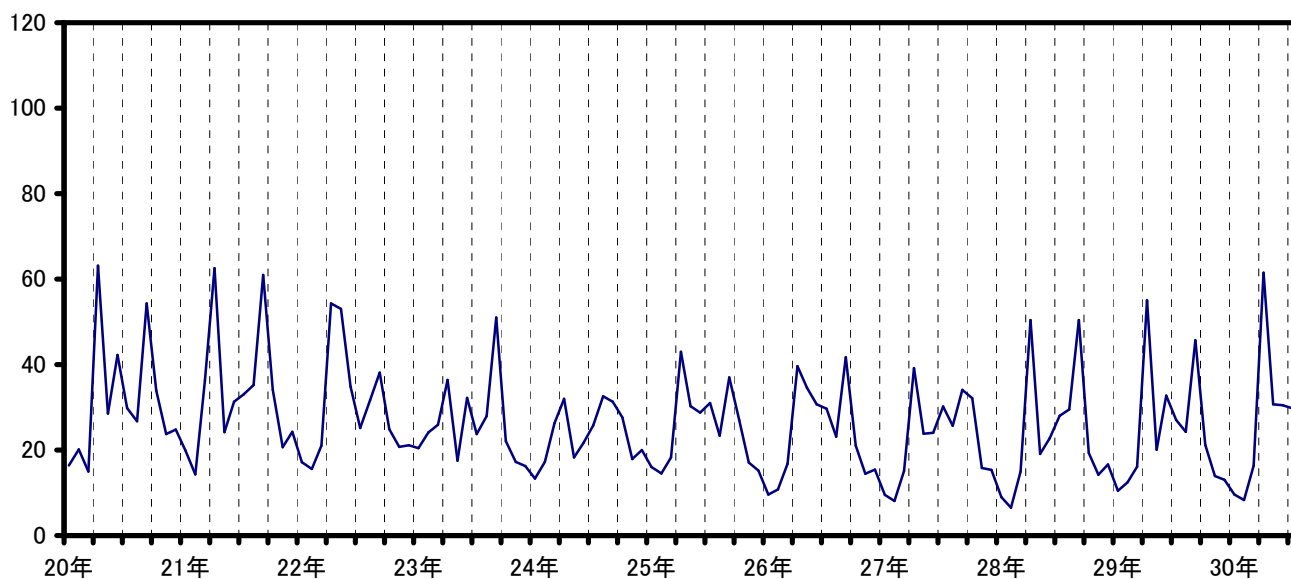
	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	▲99.1	▲63.5	▲35.2	▲44.9	9.2	122.3	113.4	129.5
独立行政法人等	113.4	77.7	758.0	1,746.6	▲8.5	61.9	▲65.3	488.7
県	▲6.3	67.2	▲73.7	▲23.0	▲2.0	8.7	4.3	45.6
市町	▲21.2	▲27.7	▲29.6	54.2	70.0	13.6	▲17.3	0.2
地方公社	▲80.9	—	—	—	204.5	1,292.4	—	▲95.2
その他	▲81.8	▲63.2	389.1	▲96.0	▲5.1	—	2.8	▲76.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 12.3%増）で増加、非製造業（同 0.4%減）で減少し、全産業（同 6.4%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 14.4%増）、非製造業（同 1.7%増）、全産業（同 11.1%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は284,663㎡で、前年同月比 142.5%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲6.9) 2.8	(▲1.9) 6.4
	全国	(0.4) 4.4	(9.0) 7.9
製造業	県	(▲11.3) 3.2	(▲4.6) 12.3
	全国	(▲0.2) 6.3	(9.2) 16.0
非製造業	県	(▲1.2) 2.3	(2.0) ▲0.4
	全国	(0.7) 3.4	(9.0) 3.3

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲5.3) 5.3	(2.4) 11.1
	全国	(0.3) 4.6	(7.4) 9.1
製造業	県	(▲6.6) 6.8	(2.7) 14.4
	全国	(0.3) 4.4	(6.3) 11.0
非製造業	県	(▲1.4) 1.4	(1.5) 1.7
	全国	(0.4) 4.8	(8.5) 7.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年6月調査)」

### <最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	109,021	86,688	123,341	63,422	162,014	179,797	136,094	284,663
前年同月比（%）	1.0	▲ 43.9	49.6	▲ 28.9	8.1	24.0	▲ 22.8	142.5
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 10.8	▲ 6.8	0.4	17.5	0.5	▲ 6.8	▲ 5.0	8.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		30年3月	30年6月	30年9月 (予測)
全産業		17	14	12
	製造業	18	15	12
	非製造業	18	13	11
(参考) 全国・全産業		17	16	13

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年6月調査)」

## 5 輸出

7月 = 182,834百万円

\*前年同月比： 1.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は182,834百万円で、前年同月比 1.1%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 1.0%増）、エアコン（同 12.6%増）がいずれも2か月連続、自動車の部分品（同 7.7%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車（同 19.3%減）が4か月ぶり、二輪自動車類（同 20.4%減）が6か月連続、科学光学機器（同 4.2%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 7.6%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 8.2%減）が2か月ぶり、EU向け（同 13.8%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	199,181	157,324	174,327	187,025	188,363	158,117	193,158	182,834
前年同月比(%)	5.4	5.5	▲4.7	▲5.1	▲1.8	5.6	10.4	▲1.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	3.2	10.8	13.8	▲6.9	▲1.7	▲5.9	6.0	1.0
エアコン	▲2.3	▲23.7	▲21.4	18.4	21.2	▲3.6	32.1	12.6
自動車	16.4	▲1.0	▲2.1	▲54.4	14.7	192.2	8.0	▲19.3
自動車の部分品	▲18.2	▲14.2	▲14.5	▲6.2	▲9.0	0.5	11.6	7.7
二輪自動車類	10.6	6.9	▲22.9	▲21.8	▲18.6	▲37.3	▲12.6	▲20.4
科学光学機器	51.8	20.1	▲9.0	▲2.4	▲1.6	43.5	10.8	▲4.2

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	6.4	10.6	▲8.2	1.2	0.1	5.1	18.5	7.6
米国	▲7.0	▲1.9	▲0.1	▲2.4	▲9.0	▲7.5	9.2	▲8.2
EU	20.9	4.3	▲9.7	▲20.1	▲2.4	17.4	▲16.0	▲13.8

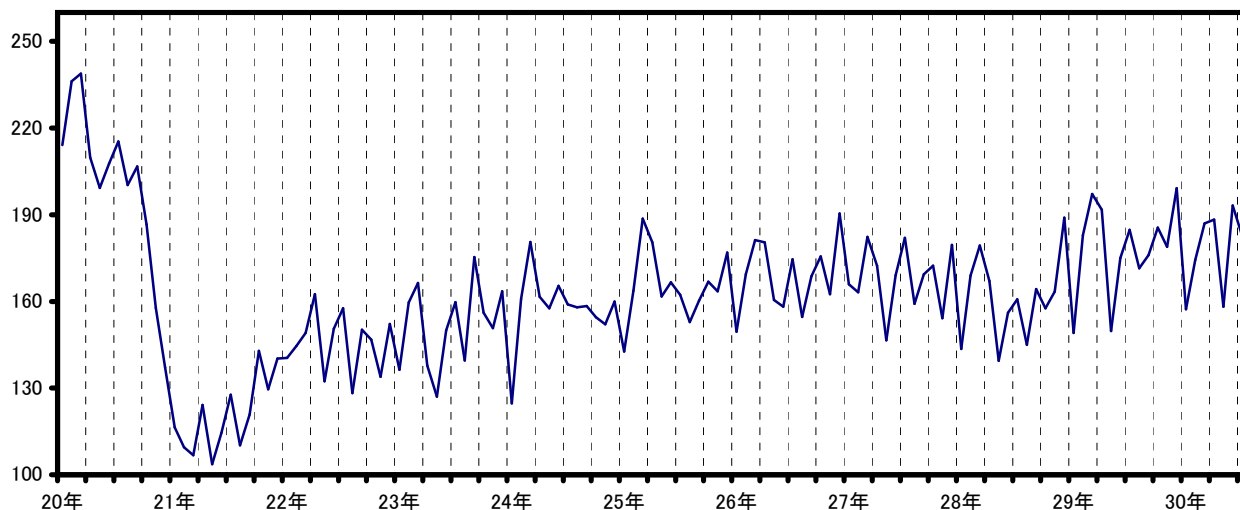
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

7月 = 96,109百万円

\*前年同月比： 17.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は96,109百万円で、前年同月比 17.0%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 5.8%減）が4か月ぶり、紙類及び同製品（同 5.4%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材（同 23.4%増）が2か月ぶり、パルプ（同 47.4%増）が9か月連続、原動機（同 3.5%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 48.9%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 19.9%増）が4か月連続、米国から（同 8.4%増）、EUから（同 3.9%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	89,185	89,767	85,331	78,836	93,691	97,600	87,816	96,109
前年同月比(%)	15.5	6.3	18.6	▲13.0	18.9	21.5	4.8	17.0

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類及び同調製品	—	26.2	▲6.2	▲13.1	34.0	30.9	2.9	▲5.8
木材	▲3.3	3.8	7.9	5.5	10.7	13.5	▲1.7	23.4
パルプ	46.4	18.2	43.2	23.2	24.7	18.4	8.3	47.4
紙類及び同製品	▲24.2	2.5	4.2	▲4.1	▲2.6	44.8	35.3	▲5.4
原動機	1.6	▲40.2	▲67.3	▲21.4	▲27.6	109.2	8.7	3.5
自動車の部分品	▲26.9	1.0	27.1	▲20.7	10.0	7.9	24.6	48.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

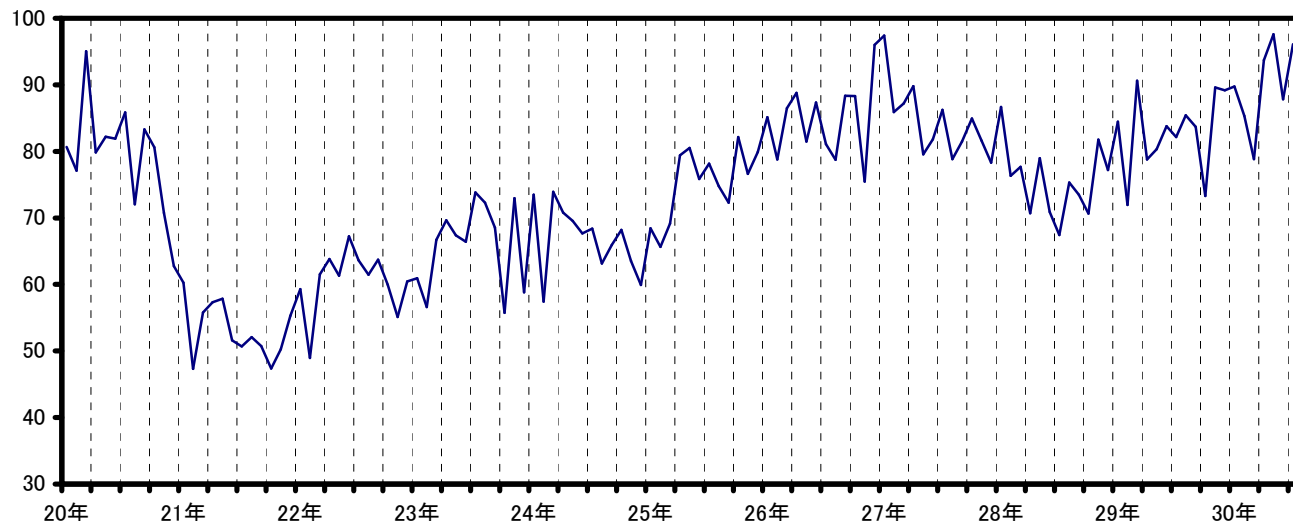
	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	11.7	0.9	21.8	▲11.8	11.2	27.6	1.9	19.9
米国	▲2.6	13.1	▲15.7	▲3.9	▲5.7	12.3	▲6.7	8.4
EU	22.3	42.3	▲23.6	4.9	20.0	10.1	▲1.5	3.9

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

6月 = 93.5

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.4%増

\*前年同月比(原指数) : 0.4%減

#### <概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は93.5(季節調整済指数)で、前月比1.4%増と、3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は0.4%減と、3か月ぶりに前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比4.5%増)が4か月連続、輸送機械(同3.2%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同7.8%減)、食料品・たばこ(同0.4%減)がいずれも2か月連続、化学(同2.3%減)、パルプ・紙・紙加工品(同1.3%減)がいずれも2か月ぶりに前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	92.6	95.7	90.9	93.8	96.0	94.2	92.2	93.5
前月比(%)	▲3.8	3.3	▲5.0	3.2	2.3	▲1.9	▲2.1	1.4
前年同月比(%)	2.8	3.2	▲1.1	▲2.0	▲2.1	0.6	1.4	▲0.4
(参考)全国前年同月比(%)	3.7	4.2	2.7	1.4	2.2	2.5	4.2	▲1.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.6	▲1.8	▲9.3	▲4.8	7.4	8.7	3.1	4.5
電気機械工業	▲3.9	▲1.4	▲3.2	1.6	3.8	1.1	▲3.1	▲7.8
輸送機械工業	10.6	6.1	▲1.6	▲8.2	▲10.3	▲4.6	0.8	3.2
化学工業	6.4	8.0	0.8	▲0.7	2.7	▲1.9	9.1	▲2.3
パルプ・紙・紙加工品工業	1.5	1.8	2.2	▲2.7	0.8	▲2.4	0.5	▲1.3
食料品・たばこ工業	▲8.4	0.4	▲2.1	7.2	▲2.2	10.5	▲4.2	▲0.4

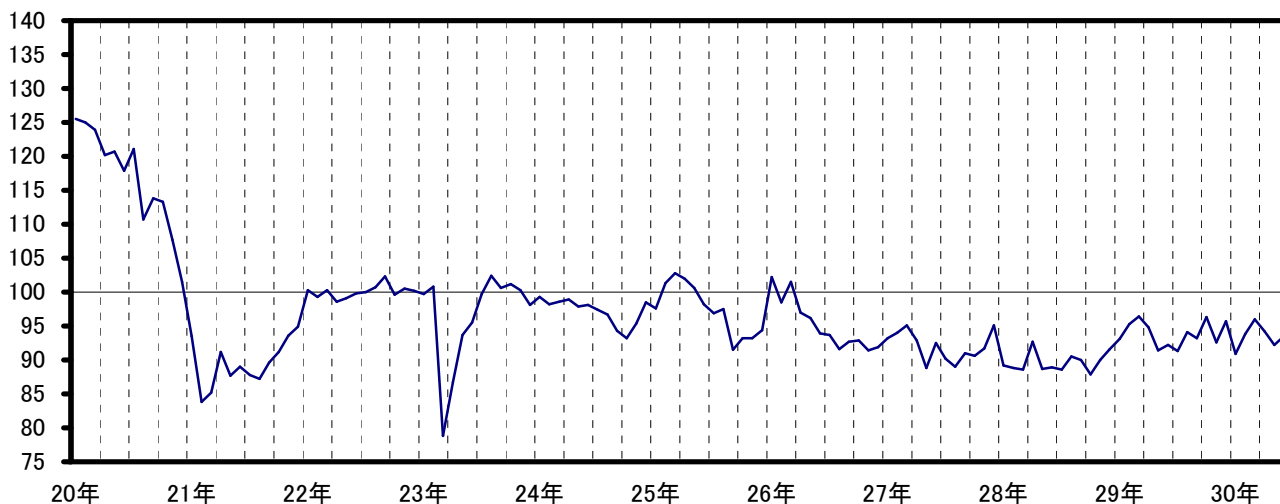
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

6月 = 125.5

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.3%減

\*前年同月比(原指数) : 6.1%増

### <概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は125.5(季節調整済指数)で、前月比は0.3%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は6.1%増と、9か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比14.0%減)が2か月連続、輸送機械(同26.8%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.5%減)が12か月連続、食料品・たばこ(同7.5%減)が7か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.8%増)が6か月連続、化学(同49.3%増)が13か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	114.5	115.5	117.9	125.2	127.8	125.0	125.9	125.5
前月比(%)	▲1.8	0.9	2.1	6.2	2.1	▲2.2	0.7	▲0.3
前年同月比(%)	4.9	8.9	4.8	4.9	8.1	7.1	10.2	6.1
(参考)全国前年同月比(%)	2.8	2.0	1.4	1.6	4.1	1.9	2.5	2.5

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲8.9	▲0.2	3.0	6.7	5.4	8.3	7.1	0.8
電気機械工業	19.7	22.1	10.6	7.9	▲3.2	4.9	▲1.4	▲14.0
輸送機械工業	20.3	36.6	9.2	▲5.7	▲7.8	▲13.7	▲11.6	▲26.8
化学工業	25.4	24.3	26.9	27.6	50.8	48.0	60.5	49.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.9	▲4.1	▲6.1	▲10.3	▲8.6	▲9.4	▲10.0	▲8.5
食料品・たばこ工業	▲4.0	7.7	10.1	11.8	2.8	3.0	0.4	▲7.5

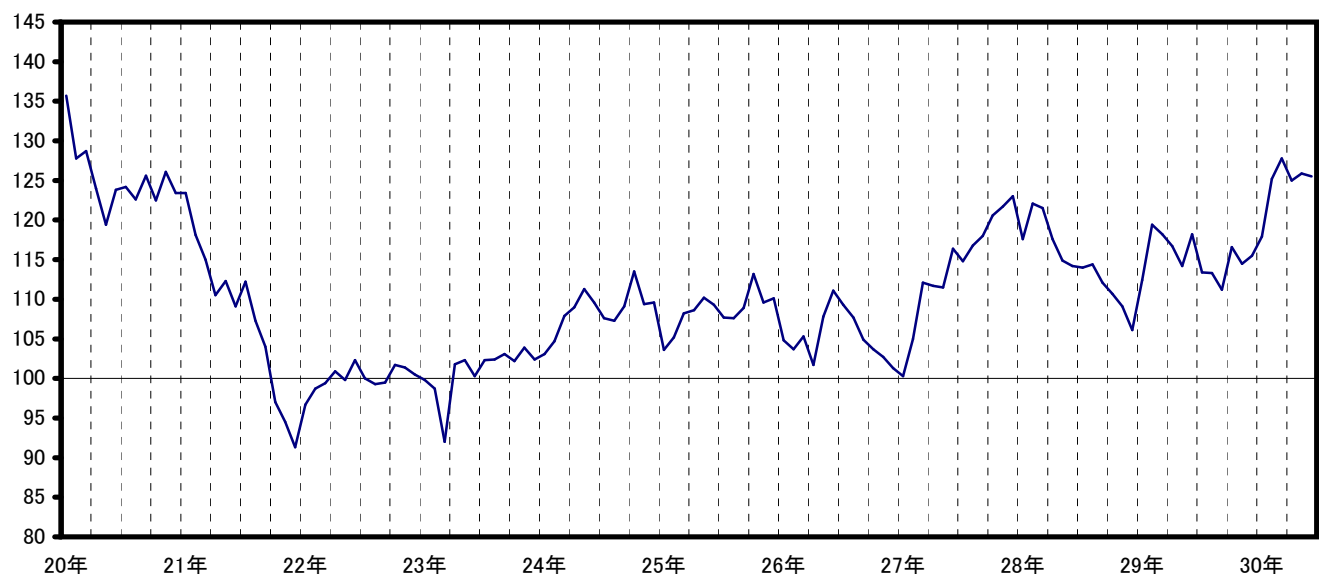
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**7 月 = 1.73倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概 況>

7月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.73倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、17か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比 6.6%増)は30か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比 1.5%減)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同 7.5%減)が5か月ぶり、医療・福祉(同 3.3%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同 6.6%増)が5か月連続、製造業(同 11.8%増)が33か月連続、運輸業・郵便業(同 16.2%増)が21か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同 21.4%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	1.61	1.61	1.65	1.66	1.68	1.70	1.72	1.73
全 国	1.59	1.59	1.58	1.59	1.59	1.60	1.62	1.63

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建 設 業	7.8	8.7	▲ 1.8	8.5	0.1	4.5	3.9	6.6
製 造 業	22.1	12.3	10.7	16.5	21.3	26.2	0.3	11.8
情 報 通 信 業	16.7	17.6	▲ 19.3	▲ 13.2	11.2	▲ 16.5	24.4	▲ 1.5
運 輸 業 ・ 郵 便 業	17.6	3.6	13.8	11.5	4.3	16.1	22.9	16.2
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 5.2	3.2	0.7	5.9	1.2	▲ 7.5
医 療 ・ 福 祉	15.1	5.2	8.7	5.1	3.1	4.0	▲ 3.8	▲ 3.3
サービス業(他に分類されないもの)	13.6	2.3	13.5	▲ 1.5	▲ 5.9	28.4	1.4	21.4
合 計	14.0	5.5	6.8	7.7	2.1	14.2	3.9	6.6

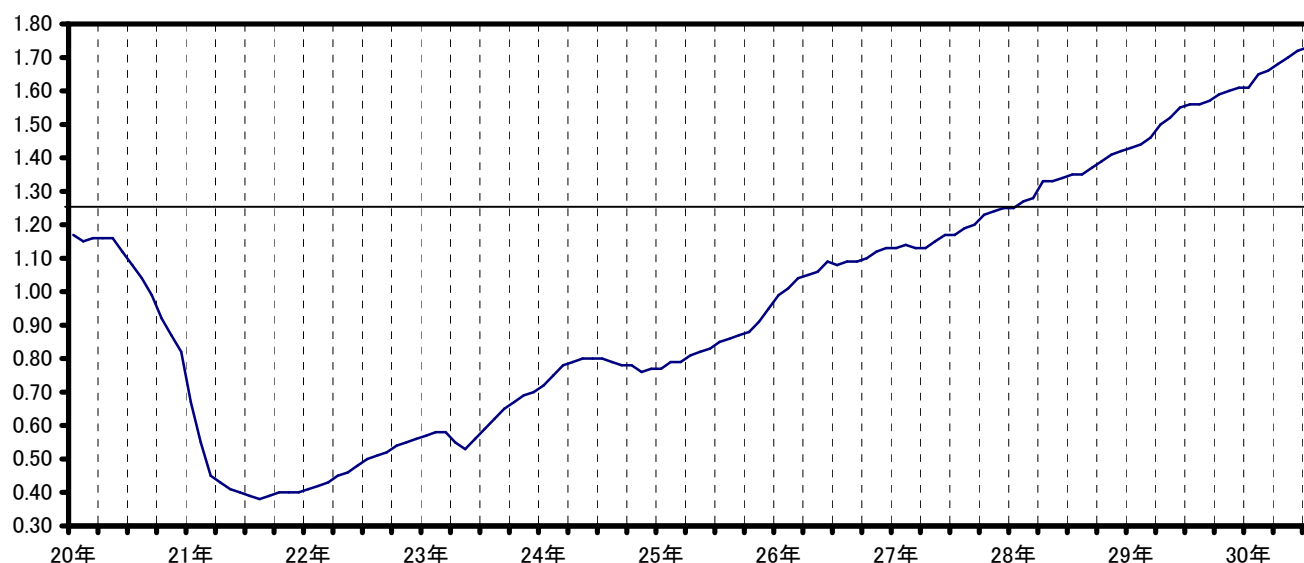
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省





(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 10,974人

\*前月比: 4.4%増

\*前年同月比: 1.1%減

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は10,974人で、前月比は4.4%増と、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は1.1%減と60か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は2.5%で、前月から0.1ポイント悪化した。  
 静岡県(平成30年4~6月)の完全失業率は2.0%で、前期(30年1~3月)と同水準だった。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	10,275	10,153	9,629	9,460	9,236	10,839	10,513	10,974
前月比(%)	▲5.3	▲1.2	▲5.2	▲1.8	▲2.4	17.4	▲3.0	4.4
前年同月比(%)	▲5.9	▲5.3	▲5.3	▲5.7	▲3.1	▲0.5	▲4.6	▲1.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.7	▲4.1	▲5.4	▲6.5	▲3.5	▲0.9	▲5.2	▲0.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	2.7	2.4	2.5	2.5	2.5	2.2	2.4	2.5

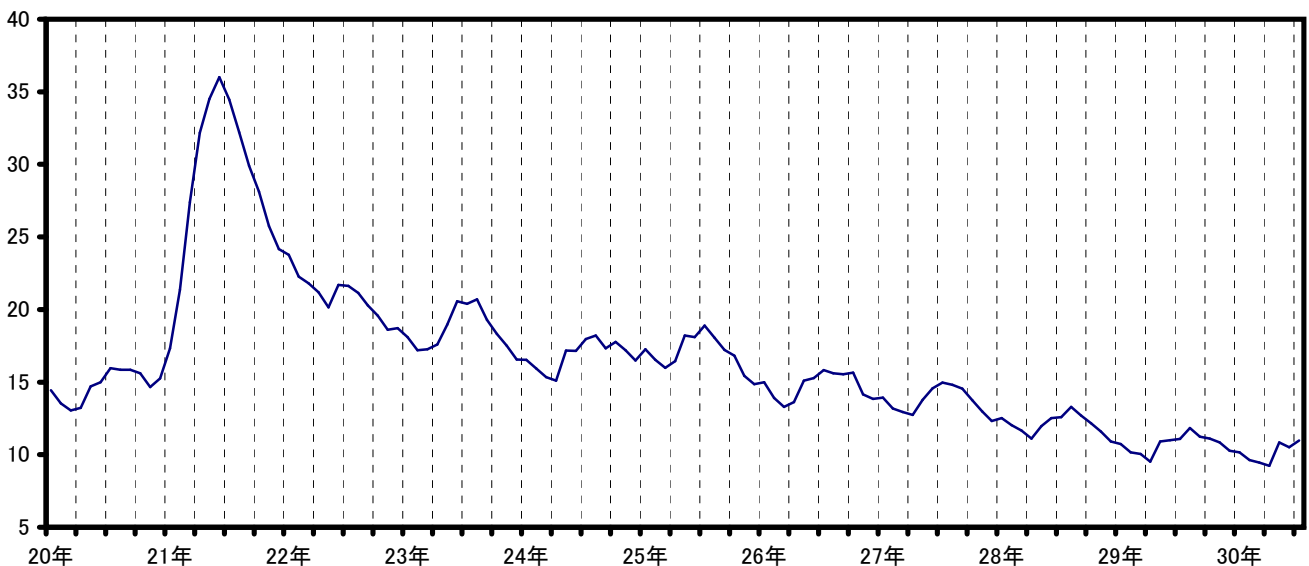
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

6月 = 93.9

\*前月比(季節調整済指数): 3.3%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 9.9%減

#### <概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は93.9(季節調整済指数)で、前月比3.3%減となった。また、前年同月比(原指数)は9.9%減と7か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比86.6%増)が8か月連続、医療・福祉(同1.6%増)が5か月ぶり、その他のサービス業(同20.0%増)が6か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同44.5%減)が2か月ぶり、製造業(同0.5%減)が7か月連続、運輸業・郵便業(同10.1%減)が4か月連続、卸売業・小売業(同10.9%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	106.8	98.9	91.3	94.2	91.6	92.0	97.1	93.9
前月比(%)	1.7	▲7.4	▲7.7	3.2	▲2.8	0.4	5.5	▲3.3
前年同月比(%)	6.1	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.1	0.6	▲2.4	▲2.3	▲1.6	▲1.5	0.8	0.8

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	▲10.8	▲1.6	▲16.2	▲48.4	▲51.0	▲17.2	284.8	▲44.5
製造業	9.5	▲1.2	▲8.9	▲8.3	▲11.4	▲6.0	▲7.9	▲0.5
情報通信業	2.3	6.6	48.2	69.8	65.9	27.9	83.7	86.6
運輸業・郵便業	▲13.2	▲11.4	▲7.6	2.9	▲3.5	▲7.1	▲10.7	▲10.1
卸売業・小売業	14.8	11.5	19.0	28.0	19.0	26.8	▲7.1	▲10.9
医療・福祉	9.2	11.5	8.4	▲1.5	▲5.3	▲8.0	▲26.2	1.6
その他のサービス業	26.0	▲4.7	60.6	46.0	29.1	43.4	15.1	20.0
調査産業計	6.1	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2	▲9.9

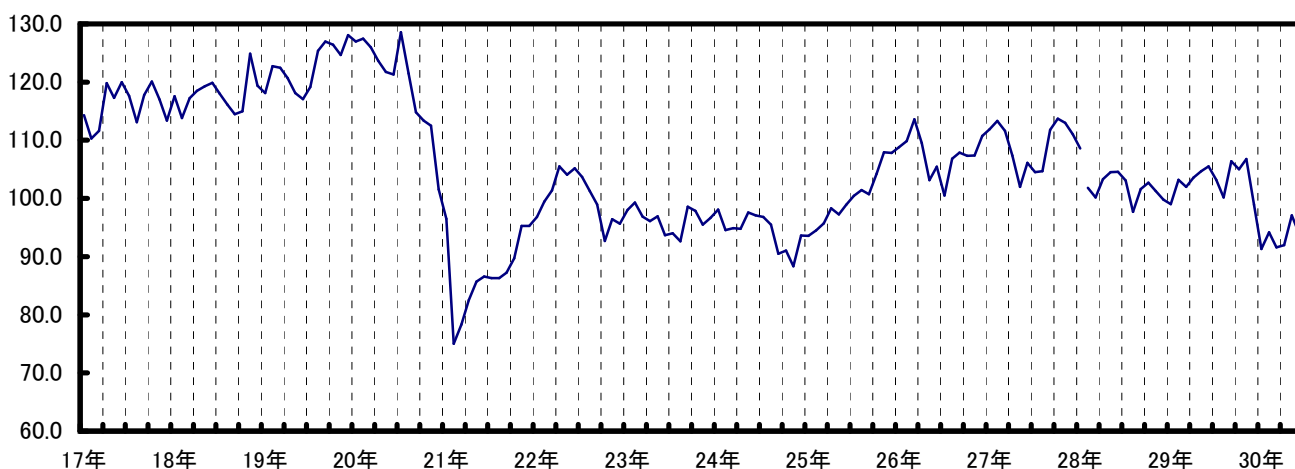
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

(平成27年=100)

**8 月 = 101.7**

\*前 月 比: 同水準

\*前年同月比: 3.0%上昇

#### <概 況>

8月の国内企業物価指数は101.7となり、前年同月比は3.0%の上昇となった。また、前月と同水準だった。

#### <最近の動き>

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	100.3	100.3	100.2	100.5	101.1	101.3	101.7	101.7
前 月 比 (%)	0.3	0.0	▲ 0.1	0.3	0.5	0.3	0.4	0.0
前年同月比 (%)	2.7	2.5	2.0	2.0	2.6	2.8	3.0	3.0

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

**7 月 = 138,340億円**

\*前 月 比: 0.7%減

\*前年同月比: 0.7%減

#### <概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,340億円と、前月比、前年同月比のいずれも0.7%の減少となった。

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出残高(億円)	141,576	139,613	139,486	140,606	139,122	138,727	139,354	138,340
前 月 比 (%)	1.4	▲ 1.4	▲ 0.1	0.8	▲ 1.1	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7
前年同月比 (%)	1.8	1.3	1.2	0.6	0.4	0.2	0.1	▲ 0.7

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

**7 月 = 2.018%**

\*前 月 差: 0.004ポイント減

\*前年同月差: 0.102ポイント減

#### <概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.018%で、前月から0.004ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.102ポイントのマイナスとなった。

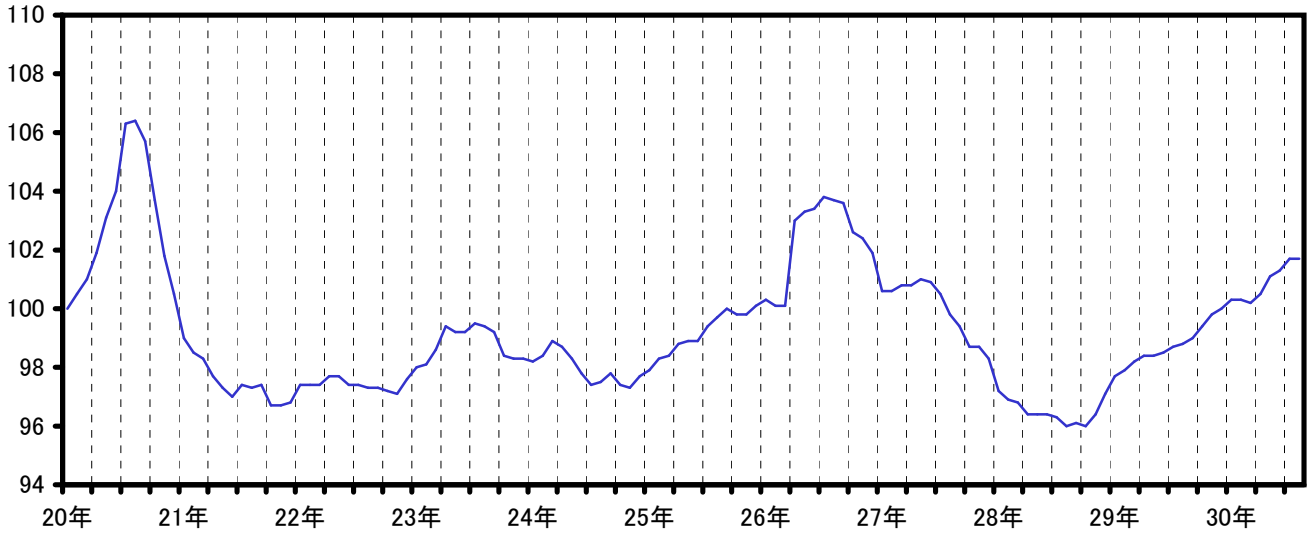
	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出約定金利(%)	2.098	2.106	2.100	2.072	2.070	2.048	2.022	2.018
前月差(ポイント)	▲ 0.019	0.008	▲ 0.006	▲ 0.028	▲ 0.002	▲ 0.022	▲ 0.026	▲ 0.004
前年同月差(ポイント)	▲ 0.026	▲ 0.028	▲ 0.038	▲ 0.056	▲ 0.063	▲ 0.083	▲ 0.101	▲ 0.102

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

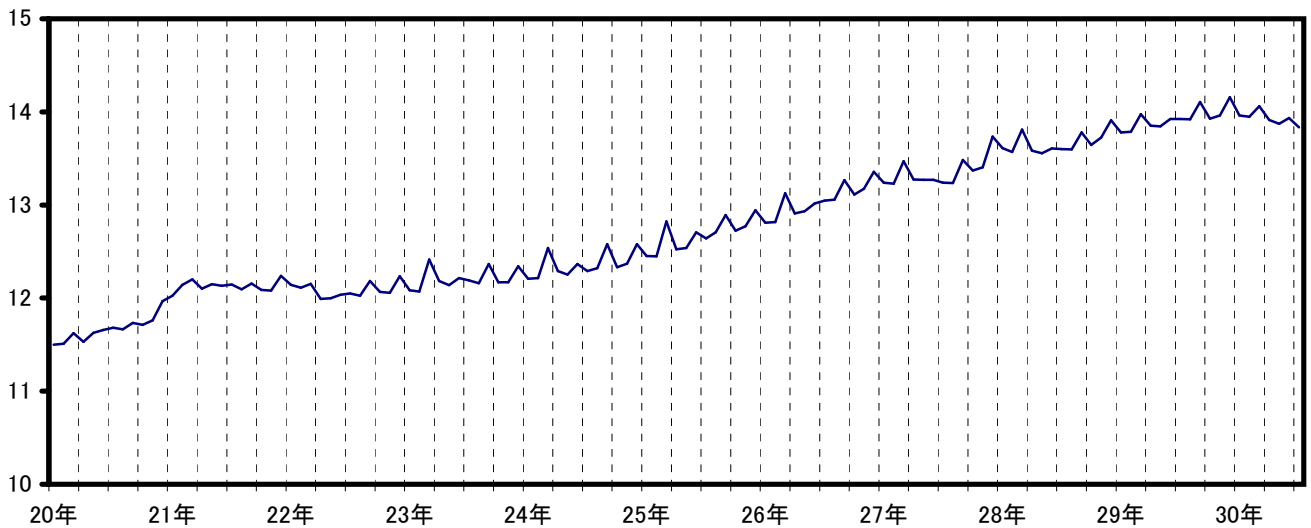
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



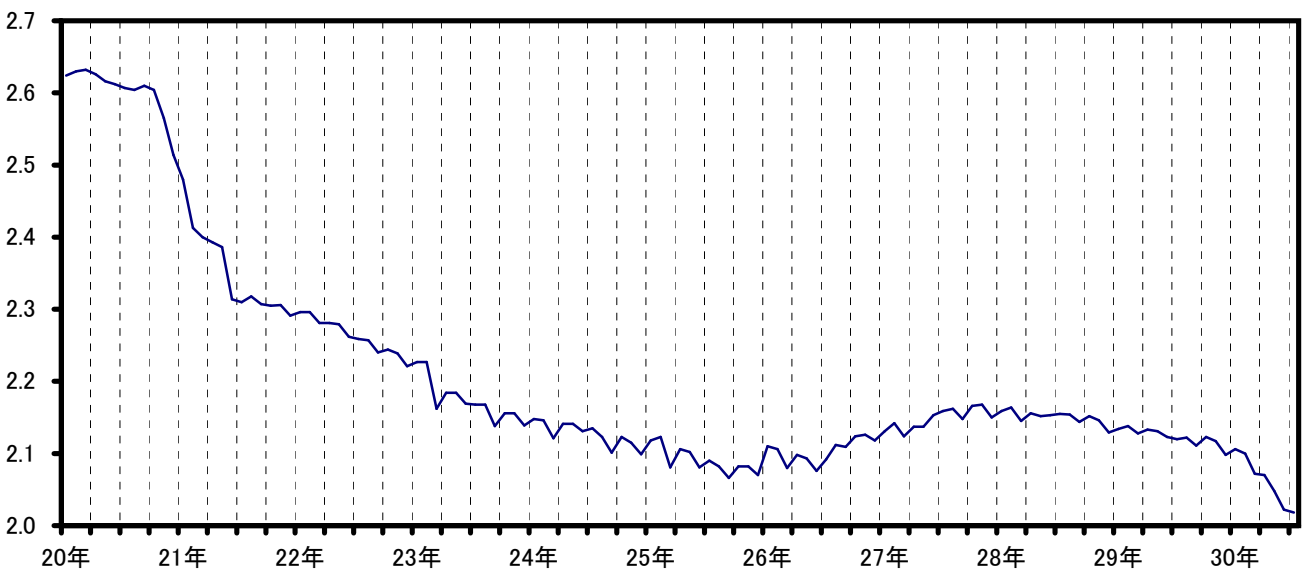
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****7月 = 19,024百万円**

\*前年同月比： 9.3%増

## &lt;概況&gt;

7月の保証承諾は、金額は19,024百万円（前年同月比 9.3%増）、件数は1,920件（同 10.5%増）と、いずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額（百万円）	23,366	13,633	17,320	24,143	12,080	17,993	18,336	19,024
前年同月比（%）	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 7.3	3.3	27.2	▲ 4.9	9.3
保証件数（件）	2,317	1,486	1,824	2,314	1,421	1,786	1,958	1,920
前年同月比（%）	▲ 1.9	▲ 1.2	0.3	▲ 4.1	3.0	11.1	▲ 1.4	10.5

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****8月 = 111.06円/ドル**

\*前月差： 0.31円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 1.15円安

## &lt;概況&gt;

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は111.06円で、前月と比べて0.31円の円高となり、5か月ぶりの円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	110.77	107.82	106.00	107.43	109.69	110.03	111.37	111.06
前月差（円）	▲ 2.20	▲ 2.95	▲ 1.82	1.43	2.26	0.34	1.34	▲ 0.31
前年同月差（円）	▲ 3.96	▲ 5.24	▲ 7.01	▲ 2.63	▲ 2.52	▲ 0.88	▲ 1.07	1.15

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****8月 = 22件**

\*前年同月比： 4.7%増

## &lt;概況&gt;

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は22件（前年同月比 4.7%増）、負債総額は2,327百万円（同 38.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の90.9%を占め、249か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

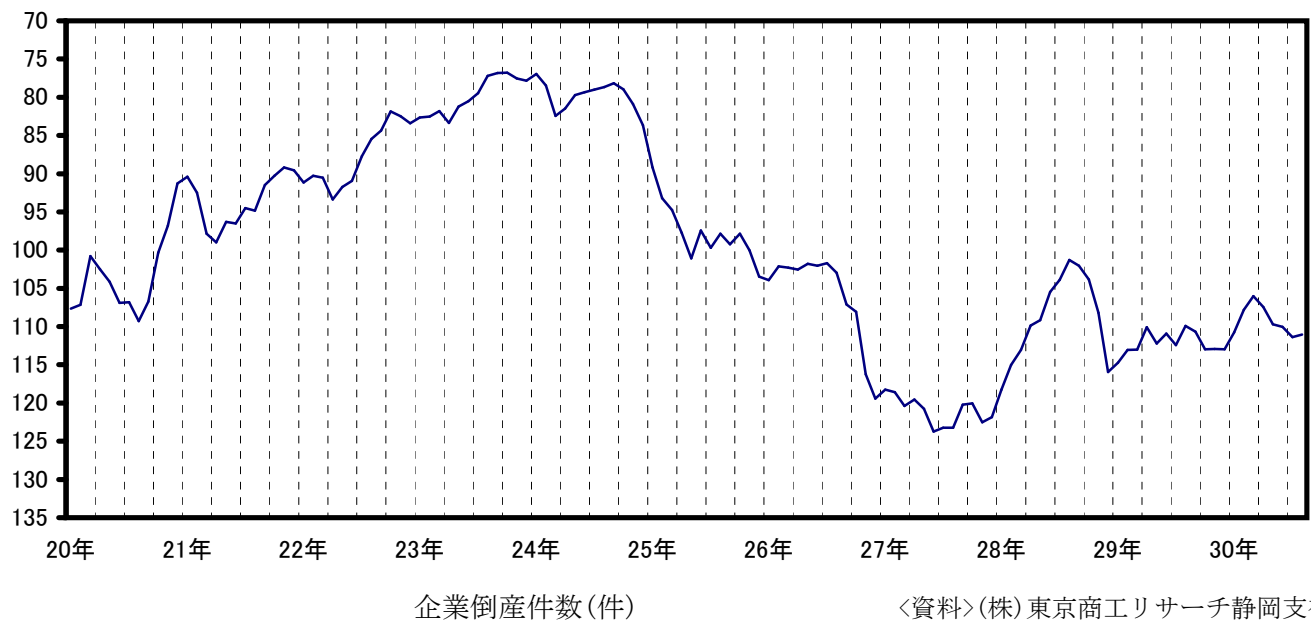
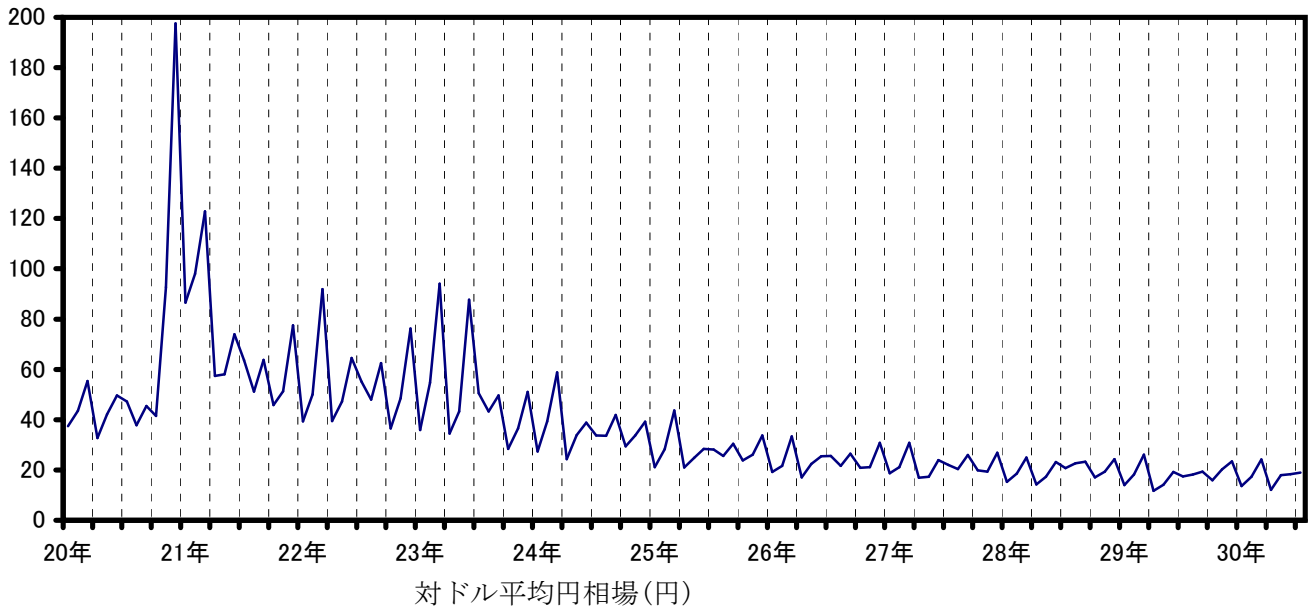
	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	18	22	26	12	24	27	16	22
前年同月比（%）	12.5	22.2	▲ 16.1	▲ 47.8	33.3	17.3	▲ 40.7	4.7
うち不況型倒産件数（件）	17	20	25	10	23	22	15	20
負債総額（百万円）	2,369	2,688	3,065	2,113	3,066	5,345	2,099	2,327
前年同月比（%）	40.4	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 68.0	31.1	81.8	▲ 33.5	38.5

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

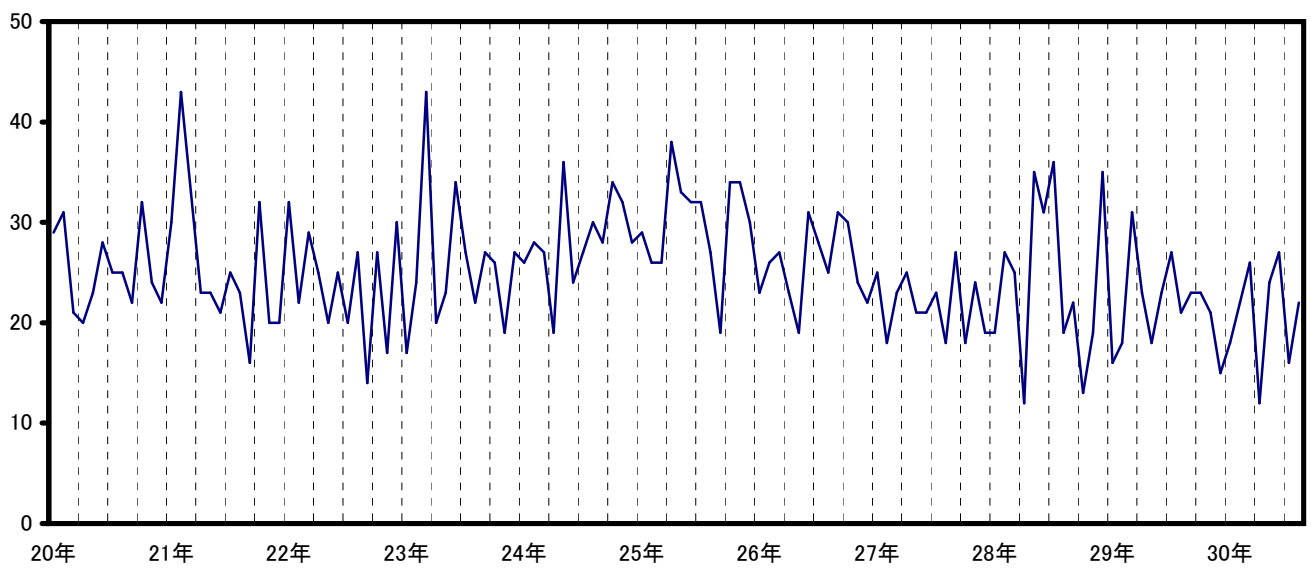
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成30年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>6月の国内二輪車生産台数は、55,067台（前年同月比 2.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、13,563台（同 6.0%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,929台（同181.1%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、7,552台（同 14.5%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、28,023台（同 0.8%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,189台（同 2.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、38,397台（同 3.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>6月の自動車国内生産台数は、822,272台（前年同月比 4.4%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。なお、輸出は412,156台（同 3.1%減）と、8か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが5か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が5か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は488億円（前年同月比 0.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は447千台（同 3.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,763千台（同 10.9%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。業務用は97千台（同 9.7%増）と、16か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、1,358千台（同 11.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,110千台（同 1.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は81.7%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,511億3,500万円（前年同月比 13.1%増）と、20か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は837億200万円（同 6.7%増）と、20か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが350億7,700万円（同 1.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。内需は674億3,300万円（同 22.1%増）と、18か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「機械設備業界の受注は順調に推移しているが、設計部門の育成に時間を要するため、そこでの人手不足がネックになっている」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、46億2,605万円（前年同月比 2.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが27億4,366万円（同 4.9%減）と、国内向けが18億8,240万円（同 1.6%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,045台（同 3.2%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,008台（同 0.5%増）、グランドピアノが1,037台（同 8.9%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,321台（同 8.1%減）、国内向けが861台（同 17.0%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、2,018千トン（前年同月比 2.3%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,040千トン（同 3.9%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。板紙は978千トン（同 0.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、564千トン（同 4.9%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、137千トン（同 0.5%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った*1。</p> <p>*2先月は速報値により5か月ぶりに増加したと発表したが発報値では、5か月連続で前年実績を下回ったに訂正された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け996千箱（前年同月比 3.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は704千箱（同 5.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は550千箱（同 7.5%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は292千箱（同 2.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,139千箱（同 14.8%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、1,137千㎡（前年同月比 1.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,056千㎡（同 0.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、81千㎡（同 40.0%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、27千㎡（同 0.1%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、54億8,262万円（前年同月比 7.7%減）と3か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、588億7,113万円（同 2.4%増）と4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>



業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>7月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,213百万円（既存店前年同月比1.1%減）と、前年実績を下回った。品目別に見ると、「飲食料品」、「その他の商品」の販売額は前年実績を上回ったものの、「衣料品」、「身の回り品」、「家庭用品」、「食堂・喫茶」は前年実績を下回った。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りでは、他店舗への買い回りや買い物に出られない客の増加等の影響により、来客数は減少していたが、客単価は上昇しており、売上げは微増していた。また、中部の百貨店への聞き取りでは、前月にセールを例年より前倒しして実施し、売上げが増加した反動等により、7月の売上げは減少していた。一方、インバウンドの売上げは、前年同月と比べ、増加しており、特に化粧品の売上げが大きかった。西部の専門店への聞き取りでは、猛暑の影響で、飲料やアイス、扇風機の売上げが好調だったこと等により全体の売上げは微増していた。</p> <p>7月下旬には、県内3百貨店を含む全国の百貨店で、2回目の夏物衣料のクリアランスセールが開催され、販売の底上げが図られた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約29万人と、前年同月比14.2%減だった。</p> <p>特に屋外の施設においては記録的な猛暑の影響を受けて、来場者数が減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は約75万台と、前年同月に比べて2.9%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	16,792	13,704	13,173	20,900	19,397	16,231	14,242	15,413	12,784
前年同月比(%)	▲ 30.8	▲ 30.9	▲ 31.3	▲ 5.3	▲ 30.2	▲ 25.2	▲ 26.9	▲ 10.9	▲ 14.7
KD輸出額(百万円)	606	531	539	650	515	752	574	570	589
前年同月比(%)	▲ 15.7	▲ 25.8	▲ 24.3	▲ 7.8	▲ 20.9	10.6	▲ 9.7	▲ 20.1	▲ 23.7

### <楽器>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,334	3,298	2,534	2,905	3,072	3,111	2,565	3,178	3,187
前年同月比(%)	▲ 8.3	0.1	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 17.5	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 14.8	▲ 5.0

### <缶詰>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	992	894	806	878	1,007	946	960	963	996
前年同月比(%)	2.3	9.6	▲ 2.4	1.4	1.1	▲ 2.0	8.1	▲ 3.6	3.1
うち水産缶詰(%)	▲ 0.8	7.7	▲ 4.2	▲ 0.5	▲ 5.2	▲ 5.8	0.1	▲ 5.0	5.7
農畜産缶詰(%)	10.9	14.3	2.0	5.5	15.7	7.1	31.1	▲ 0.3	▲ 2.8
飲料缶生産高(千ケース)	6,345	5,513	4,694	5,196	6,952	6,871	8,024	7,394	7,139
前年同月比(%)	▲ 4.5	▲ 7.9	▲ 4.9	▲ 9.8	▲ 4.2	▲ 15.7	▲ 4.4	▲ 7.2	▲ 14.8

### <繊維>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	1,679	1,589	1,515	1,333	1,332	1,274	1,176	1,177	1,137
前年同月比(%)	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 3.1	▲ 3.3	0.8	▲ 4.8	0.5	3.5	1.5
小幅織物(千㎡)	32	33	32	35	34	31	30	28	27
前年同月比(%)	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 3.8	▲ 0.5	1.4	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 4.6	▲ 0.1

### <観光>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
観光施設(10施設)入込 (千人)	374	251	287	263	512	515	536	302	287
前年同月比(%)	7.2	▲ 10.2	▲ 0.2	▲ 1.7	5.9	1.5	▲ 15.9	▲ 17.5	▲ 14.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	735	725	639	625	783	699	719	656	752
前年同月比(%)	4.8	▲ 2.2	▲ 5.7	▲ 9.2	0.7	▲ 0.1	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 2.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://wwwdtkt.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://wwwdtkt.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

**静岡県月例経済報告**  
平成30年9月号 通巻509号

発行 静岡県経済産業部  
平成30年9月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>